

令和9年度佐賀県公立学校 教員採用選考試験 **秋選考** 実施要項

【佐賀県がめざす教育】

「自分で自分のことを決められる子どもに育てたい」

- ・高い志と佐賀に誇りを持った骨太でたくましい子どもを育てる
- ・豊かな感受性や人を想う優しさを持った子どもを育てる
- ・佐賀の未来を担う、多様な個性を持った人材を育てる

ほめるから、はじめる。はじまる。

出願期間

・令和8年9月28日（月）～10月19日（月）
※電子申請（インターネット）による（➡P9）

選考試験

・令和8年11月14日（土）～15日（日）
【会場】佐賀県立佐賀工業高等学校

合格発表

・12月4日（金）

I	選考種別と試験日程	(P1)
II	選考種別と受験資格等	
A	一般選考	(P2～4)
B	特別選考	
①・②	さがUJIターン特別選考	(P5)
③	社会人特別選考	(P6)
④	英語スペシャリスト特別選考	(P7)
C	チャレンジ受験	(P8)
III	電子申請システムによる申込の手順	(P9)
IV	提出書類	(P10)
V	選考結果の通知から採用まで	(P11)
VI	留意事項等	(P11)



佐賀県 人を大切に、
世界に誇れる 佐賀づくり

I 選考種別と試験日程

1 選考種別

A 一般選考

11月14日(土)～15日(日)

・小学校教諭等 ・中学校教諭等 ・高等学校教諭等

B 特別選考

① さがU J I ターン特別選考(現職教員)

11月14日(土)

・小学校教諭等 ・中学校教諭等 ・高等学校教諭等

B 特別選考

② さがU J I ターン特別選考(民間企業等)

11月14日(土)

・中学校教諭等 ・高等学校教諭等

B 特別選考

③ 社会人特別選考

11月14日(土)

・中学校教諭等 ・高等学校教諭等

B 特別選考

④ 英語スペシャリスト特別選考

11月14日(土)

・中学校教諭等

C チャレンジ受験(令和10年度採用)

11月14日(土)

・小学校教諭等

2 試験日程

月 日	11月14日 (土)				11月15日 (日)
時間	8:40～9:00 ※開場予定7:45	9:10～ 10:00	10:30～ 11:30	12:30～	8:40～ ※開場予定7:45
選考 種別	諸注意・連絡 ※ 一般・教職教養試験の 免除が認められた者も、 8時40分集合とする。	I 一般・教職 教養試験 (50分)	II 専門試験 (60分)	III 個人面接 + 模擬授業	III 個人面接 + 模擬授業
A 一般	○	○	○	○	○
B①② U J I	—	—	—	○	—
B③ 社会人	—	—	○	○	—
B④ 英語	—	—	—	○ + 英語特別面接	—
C チャレンジ	○	○	○	—	—

(※個人面接の集合時刻は、11月上旬に受験番号と併せて佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。)

Ⅱ 選考種別と受験資格等

A 一般選考

第1 目的

この選考試験は、令和9年度に佐賀県公立学校教員として採用する候補者を決定するために実施する。

第2 受験資格（次の1～4に該当する者）

- 1 昭和42年4月2日以降に出生した者
- 2 受験する試験区分（中学校及び高等学校教諭等にあつては、受験教科）の普通免許状の所有者又は令和9年3月末までに取得見込みの者
- 3 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者
- 4 過去に性犯罪の前科がない者（「こども性暴力防止法」に基づく要件）

第3 試験区分、試験実施教科（科目）及び採用予定者数

試験区分	試験実施教科（科目）		採用予定者数	備考
小学校教諭等	—		25名程度	※採用された校種以外にも配置・異動となる場合がある。 ※日本国籍を有しない者を任用する場合は、期限を付さない常勤講師とする。
中学校教諭等	国語		5名程度	
	理科		4名程度	
	英語		5名程度	
	美術		1名程度	
	技術		1名程度	
	家庭		2名程度	
高等学校教諭等	工業	機械	2名程度	
		電気	2名程度	
		土木	1名程度	

第4 試験概要及び配点

Ⅰ 一般・教職教養試験		教育原理、教育心理、教育法規、人権教育、ICT教育関係、時事、高校卒業程度の一般常識に関すること	50点
Ⅱ 専門試験	小学校教諭等	国語、社会、数学、理科、英語及び指導内容・方法等（全教科領域）	200点
	中学校教諭等 高等学校教諭等	受験する教科（科目）の専門に関すること	
		試験時間は40分程度。模擬授業（10分程度）を含む。 模擬授業のテーマを開始30分前に提示する。	200点 （内 模擬授業 30点）

第5 選考基準及び評価の観点

1 選考基準について

- （1）選考は2段階で行う。「Ⅰ 一般・教職教養試験」の得点が、基準（全受験者の平均点等により定めたもの）を満たした者を1段階通過者とする。この1段階通過者と「Ⅰ 一般・教職教養試験」免除者を選考の対象とする。
- （2）「Ⅱ 専門試験」及び「Ⅲ 個人面接」の得点が、基準（受験者の平均点等により定めたもの）に満たない場合には、不合格とする。

2 評価の観点について

- （1）「Ⅰ 一般・教職教養試験」は、教員として必要な教養知識が身についているかを評価する。
- （2）「Ⅱ 専門試験」は、教員として必要な教科（科目）等の基礎知識、専門知識が身についているかを評価する。

- (3) 「Ⅲ 個人面接」は、誠実さ、使命感、社会性、コミュニケーション力、意欲・行動力、課題解決力、柔軟性等を総合的に評価する。模擬授業は、教材の理解、授業の構成、表現力、態度等を総合的に評価する。

第6 受験申込の手続き

- 1 受験申込の手続きは、「Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順」(P 9)によるものとする。
- 2 提出書類は、「Ⅳ 提出書類」(P 10)によるものとする。

第7 一般・教職教養試験の免除及び申請(対象：全試験区分)

下表のいずれかに該当する者は、「Ⅰ 一般・教職教養試験」を免除する。①～⑥の項目に重複して該当する者は、いずれか一つで免除申請を行うこと。

なお、免除を申請する者は、**免除申請書等を提出**すること。詳しくは、「Ⅳ 提出書類」(P 10)で確認すること。 ※提出書類(写し)は、**A4サイズにして提出**すること。

①	令和8年6月実施の令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験において、第一次試験に合格した者
②	受験する試験区分・教科の専修免許状を有する者(令和9年3月末までに取得見込みの者も含む) ※ 専修免許状の写し又は専修免許状取得見込証明書を提出すること。
③	現に都道府県又は政令指定都市の公立学校で、正規の教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手又は寄宿舎指導員の職にある者
④	以下のア及びイの両方の要件を満たす者 ア 令和8年4月1日から令和8年10月19日の期間内において、 <u>本県の学校</u> (注1)に <u>教職員</u> (注2)として臨時的に任用された実績のある者 イ 過去5年間(令和3年度～令和7年度)において、 <u>本県の学校</u> (注1)で <u>教職員</u> (注2)として通算24月以上の勤務経験を有する者(ただし、非常勤講師又は非常勤職員としての勤務経験は、その在職期間に1/2を乗じて算出すること) (注1) 本県の学校とは、佐賀県内にある県立学校、市町立学校、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校を指す。(専修学校、各種学校は含まない) (注2) 教職員とは、常勤講師、非常勤講師、非常勤職員、臨時の事務職員、非常勤嘱託職員、支援員、会計年度任用職員など、学校に任用されているすべての者を指す。 ※ 市町教育委員会、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校が任用した勤務経験を申請する者は、辞令書の写し又は所属長による在職証明書を提出すること。 ※ 県・市町教育委員会、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校からの委託を受けた事業所が任用した勤務経験を申請する者は、辞令書等の写し及び委託契約が証明できる書類を提出すること。
⑤	民間企業等(教諭以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として令和8年3月31日までに3年以上の勤務経験がある者(休職期間等、勤務の実態がない期間は含まない) なお、試験合格者は、 令和8年12月24日(木)までに在職証明書等を提出 すること。在職の確認ができない場合は、採用候補者名簿(「Ⅴ 選考結果の通知から採用まで」参照)から削除する。
⑥	都道府県・政令指定都市の公立学校の正規教員として3年以上(休職や育児休業等の期間を除く)の勤務経験を有する者。試験区分は、勤務経験時と同一試験区分(同一教科)とする。 ※ 在職証明書を提出 すること。

第8 加点申請

1 特定資格等を有する者の加点申請

下表に示す免許や資格を有する者には、選考に際して、**20点を上限に加点**を行う。ただし、英語力の申請については、いずれか一つとする。

	加点項目	点数	提出書類
①	受験する区分・教科の「専修免許状」を有する者	10	免許状の写し 又は 免許状取得見込証明書
②	小学校教諭等の受験者で「幼稚園教諭」の免許状を有する者	10	
③	小学校教諭等、中学校教諭等の受験者で「小学校教諭」と「中学校教諭」の両方の免許状を有する者	10	
④	小学校教諭等、中学校教諭等、高等学校教諭等の受験者で「盲学校教諭」、「聾学校教諭」、「養護学校教諭」又は「特別支援学校教諭」の免許状を有する者	10	

	加点項目					点数	提出書類
⑤	中学校教諭等の受験者で「中学校教諭」の複数教科の免許状を有する者					10	免許状の写し 又は 免許状取得見込証 明書
⑥	高等学校教諭等の受験者で「情報」の免許状を有する者					10	
⑦	高等学校教諭等の受験者で「福祉」又は「看護」の免許状を有する者					10	
英語力に関して、以下のいずれかを有する者（i pテストは除く）							
	実用英語 技能検定	TOEIC L&R	TOEFL iBT	TOEFL CBT	TOEFL PBT		実施団体又は資格 認定協会が発行す る証明書等の写し
⑧	1級合格	860点以上	100点以上	250点以上	600点以上	15	
⑨	準1級合格	730点以上	79点以上	213点以上	550点以上	10	
⑩	2級合格	500点以上	52点以上	150点以上	470点以上	5	
⑪	公認心理師又は臨床心理士の資格を有する者					10	
⑫	学校図書館司書教諭の資格を有する者					10	修了証書の写し
⑬	日本語教育能力検定試験に合格した者					5	合格証明書の写し
⑭	3か月以上の海外留学経験を有する者 (ただし、県教育委員会が適当と認めるものに限る)					10	在籍や派遣活動を 証明する書類の写 し
⑮	青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア又は在外教育施設現地採用職員として2年以上の経験を有する者					10	

2 スポーツ分野の実績加点申請

以下の（１）加点対象競技において、選手又は指導者として、（２）、（３）に該当する実績を有する者には、選考に際して加点を行う。ただし、（２）のア～ウの申請については、いずれか一つとする。

（１）加点対象競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、ビーチバレーボール、体操卓球、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、カヌーソフトテニス、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、空手道、ソフトボール、バドミントンライフル射撃、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、弓道、アーチェリー、なぎなた、剣道ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、銃剣道、クレ射撃、スキー、スケート、アイスホッケー
※ 及びこれに準ずるもので佐賀県教育委員会が認めるもの（事前に教職員課へご相談ください）

（２）加点項目及び項目ごとの点数

	加点項目	点数	提出書類
ア	国際規模の競技会で日本代表として出場した者又は直接の指導者 (オリンピック・パラリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会等)	20	申請するレベルに応じ、実績を証明する書類（賞状・記録証の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等）
イ	全国規模の競技会で4位以上の成績を収めた者又は直接の指導者	15	
ウ	全国規模の競技会で8位以上の成績を収めた者又は直接の指導者	10	

※ 全国規模の競技会とは、国民体育大会・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会及び日本スポーツ協会又は日本オリンピック・パラリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等とする。

（３）加点の対象は、令和3年4月1日から令和8年10月19日の期間の実績とする。

ただし、中学校・高等学校在学時の選手としての実績は除く。

3 留意事項

（１）「1 特定資格等を有する者の加点申請」（P3）、「2 スポーツ分野の実績加点申請」（P4）

それぞれの加点申請に該当する場合には、併せて申請を行うことができる。

（２）希望する加点項目については、電子申請で該当する項目に☑を入れること。

※ 電子申請で該当項目に ☑ を入れないと、加点を受け付けることができない。

（３）電子申請で加点申請していても、期限内に提出書類が提出されない場合は、加点できない。

（４）虚偽の内容を申請した者は、採用内定後であっても内定を取り消すことがある。

B①・② さがU J I ターン特別選考

第1 目的

学校や民間企業等での実務経験に裏付けされた優れた能力と意欲のある者を採用するため、「さがU J I ターン特別選考」を実施する。

第2 受験資格

次の1又は2の要件を満たす者

1 現職教員

A 一般選考 「第2 受験資格」(P2)を満たす者で、現在、他の都道府県・政令指定都市の公立学校で正規教員として【小学校教諭等】、【中学校教諭等】国語、理科、英語、美術、技術、家庭、【高等学校教諭等】工業(機械、電気、土木)として勤務している者。試験区分・教科は、現職と同一試験区分(同一教科)とする。ただし、条件附採用教員は除く。

2 民間企業等職員(教諭以外)

A 一般選考 「第2 受験資格」(P2)を満たす者で、他の都道府県・政令指定都市の民間企業等(教諭以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として令和8年3月31日までに、3年以上の勤務経験がある者(休職期間等、勤務の実態がない期間は含まない)。また、その勤務経験により試験実施教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者。

第3 試験区分、試験実施教科(科目)及び採用予定者数

	試験区分	試験実施教科(科目)	採用予定者数
現職教員	小学校教諭等	—	若干名
	中学校教諭等	国語、理科、英語、美術、技術、家庭	若干名
	高等学校教諭等	工業(機械、電気、土木)	若干名
民間企業等職員 (教諭以外)	中学校教諭等	国語、理科、英語、美術、技術、家庭	若干名
	高等学校教諭等	工業(機械、電気、土木)	若干名

第4 試験概要 (試験の内容 と 日程)

- 書類選考と個人面接とする。個人面接は40分程度で行い、模擬授業(8分程度)を含む。
※ 模擬授業のテーマは、開始20分前に提示する。
- 個人面接は、令和8年11月14日(土) 12時30分から開始する。
※ 集合時刻は、11月上旬に受験番号と併せて、佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。

第5 配点及び評価の観点

- 配点について
面接は200点とし、そのうち模擬授業を50点とする。
- 評価の観点について
個人面接は、誠実さ、使命感、実践的指導力、コミュニケーション力、意欲・行動力、課題解決力、柔軟性等を総合的に評価する。
模擬授業は、教材の理解、授業の構成、表現力、態度等を総合的に評価する。

第6 受験申込の手続き

- 受験申込の手続きは、「Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順」(P9)によるものとする。
- 提出書類は、「Ⅳ 提出書類」(P10)によるものとする。ただし、民間企業等職員(教諭以外)の受験者は、上記「第2 受験資格 2」に係る能力・実績調書(佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロードして、必要事項を記入する)を提出する。
なお、本特別選考は一般選考にある加点申請の対象としない。

B③ 社会人特別選考

※ 受験を希望する者は、事前に佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当（０９５２－２５－７２１２）に問い合わせること。

第１ 目的

民間企業等での実務経験に裏付けされた優れた能力と意欲のある者を採用するため、「社会人特別選考」を実施する。

第２ 受験資格

社会人特別選考については、**本県の特別免許状の授与要件を満たす者は**、当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できる。

A 一般選考「第２ 受験資格」（P 2）の１、３、４及び以下のア、イの要件をすべて満たす者

ア 民間企業等（教諭以外）において、一つの職場で正社員又は正規職員として令和８年３月３１日までに３年以上の勤務経験がある者（休職期間等、勤務の実態がない期間は含まない）。

イ その勤務経験により、下記「第３ 試験区分、試験実施教科（科目）及び採用予定者数」の試験実施教科（科目）について、特に秀でた知識・技能を有する者で、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。

※ 一般選考との併願はできない。

第３ 試験区分、試験実施教科（科目）及び採用予定者数

試験区分	試験実施教科（科目）	採用予定者数
中学校教諭等	理科、英語、技術、家庭	若干名
高等学校教諭等	工業（機械、電気、土木）	若干名

第４ 試験概要、配点及び評価の観点

- ・「一般・教職教養試験」を免除する。
- ・「専門試験」及び「個人面接」については、原則として**A 一般選考**と同様に行う。

第５ 受験申込の手続き

- １ 受験申込の手続きは、「Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順」（P 9）によるものとする。
- ２ 提出書類は、「Ⅳ 提出書類」（P 10）のア、イ、ウ、エ、カ、ケに加え、能力・実績調書（佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロードして、必要事項を記入する）及び、上記「第２ 受験資格」イの特に秀でた知識・技能を有することを示す、自身の実績や取得資格を証明するものの写しを提出する。

B④ 英語スペシャリスト特別選考

※ 受験を希望する者は、事前に佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当（０９５２－２５－７２１２）に問い合わせること。

第１ 目的

英語における非常に高い専門性と意欲のある者を採用するため、「英語スペシャリスト特別選考」を実施する。

第２ 受験資格

英語スペシャリスト特別選考については、特別免許状の本県の授与要件を満たす者は、当該教科の普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できる。

A 一般選考 「第２ 受験資格」（P 2）の１、３、４及び以下の１～３の要件をすべて満たす者

- １ 学士以上の学位を取得している者
- ２ 母国語が英語である者〔公用語が英語である国・地域に在住（留学は除く）していた者を含む〕又は、前者と同等の英語力を有し、日常的に英語を用いて業務を行っている者
- ３ 教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者

※ 一般選考との併願はできない。

第３ 試験区分、試験実施教科(科目)及び採用予定者数

試験区分	試験実施教科(科目)	採用予定者数
中学校教諭等	英語	若干名

第４ 試験概要（試験の内容 と 日程）

- １ 個人面接(模擬授業８分程度を含む)を３０分程度、英語特別面接を１０分程度行う。
※模擬授業のテーマを開始２０分前に提示する。
- ２ 個人面接は、令和８年１１月１４日（土） １２時３０分から開始する。
※集合時刻は、１１月上旬に受験番号と併せて、佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。

第５ 配点及び評価の観点

- １ 配点について
個人面接(模擬授業を含む)を１００点、英語特別面接を１００点とする。
- ２ 評価の観点について
個人面接は、誠実さ、使命感、社会性、コミュニケーション力、意欲・行動力、課題解決力、柔軟性等を総合的に評価する。
模擬授業は、教材の理解、授業の構成、表現力、態度等を総合的に評価する。
英語特別面接は、コミュニケーション能力、英語の運用能力を評価する。

第６ 受験申込の手続き

- １ 受験申込の手続きは、「Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順」（P 9）によるものとする。
- ２ 提出書類は、「Ⅳ 提出書類」（P 10）のア、イ、ウ、エ、カに加え、能力・実績調書（佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロードして、必要事項を記入する）を提出する。

C チャレンジ受験（令和10年度採用）

◎合格者は、令和10年度（令和9年度実施）の教員採用選考試験において第一次試験が免除となる。

※ただし、合格した試験区分（教科）以外で、次年度受験する場合、第一次試験は免除とならない。

第1 受験資格（次の1～4に該当する者）

- 1 令和9年4月1日から令和10年3月31日の期間で、受験する試験区分・教科（科目）の免許取得予定の者
- 2 昭和43年4月2日以降に出生した者
- 3 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者
- 4 過去に性犯罪の前科がない者（「こども性暴力防止法」に基づく要件）

第2 試験区分及び採用予定者数

1 試験区分

小学校教諭等

2 採用予定者数

令和10年度採用の採用予定者数については、「令和10年度佐賀県公立学校教員採用選考試験 実施要項」に掲載する。

第3 試験概要

「一般・教職教養試験」「専門試験」のみ行う。

第4 各試験の配点、選考基準及び評価の観点

A 一般選考 に準じる。P2参照。

第5 受験申込の手続き

- 1 受験申込の手続きは、「Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順」（P9）によるものとする。
- 2 提出書類は、「Ⅳ 提出書類」（P10）のア、イ、ウ、カとする。

第6 試験の免除及び加点申請

免除及び加点については、申請することはできない。

第7 大学院等進学希望者及び大学院等在籍者の特例申請

申請することはできない。

Ⅲ 電子申請システムによる申込の手順

【受付期間】 ※原則、電子申請でのみ受付
令和8年9月28日（月）午前10時～10月19日（月）

- ※ 受付期間内に申込が完了しなかった場合は、受験できない。
- ※ 受付期間中は24時間申込を受け付けるが、保守点検作業等のため電子申請サービスを停止する場合があります。そのため、余裕をもって申込をすること。
- ※ 特別な事情により、電子申請による申込ができない場合には、佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当（0952-25-7212）に問い合わせること。

1. 手続きの流れ

① 佐賀県電子申請サービスで利用者情報を登録する

下記URLもしくは右記二次元バーコードへアクセス

(<https://denshi-shinsei.pref.saga.lg.jp>)



- ①-1) 「★利用者情報」の新規登録から、利用者仮登録を行う。
 - ①-2) 仮登録で入力したメールアドレスに『【佐賀県_電子申請】本登録 URL のお知らせ』のメールが届く
 - ①-3) メール本文内にある本登録用URLをクリックし、本登録を行う。
- ※「利用者 ID」と「パスワード」は事務局では調べることができません。必ず、控えておいてください。

② 電子申請手続き（①の佐賀県電子申請サービスへアクセス）

- ②-1) 「★利用者情報」から、「利用者 ID」と「パスワード」でログインする。
- ②-2) 受験する選考種別を選択し、受験申込を行う。
※申請内容は誤りがないように正確に入力してください。虚偽の内容を申請した人(加點申請したにも関わらず結果的に資格等を取得できなかった人を含む)は、故意・過失の如何に関わらず、採用内定後であっても内定を取り消す場合があります。
- ②-3) 申請データの確認。
- ②-4) 申請データの送信。
- ②-5) 申込受付メールの確認。

③ 受験番号決定

- ③-1) 受験番号決定の際に、登録したアドレス宛に受験番号等の確認方法を記したメールを送信。
- ③-2) メールの内容に従って、受験票を出力する。
※受験票は、試験当日持参すること。

2. 問い合わせ先

システム操作に関すること	佐賀県電子県庁システムサービスデスク 0952-24-2151（受付時間 平日8時から20時まで）
申請内容に関すること	佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当 0952-25-7212（受付時間 平日9時から17時まで）

3. 重要

申請内容について問合せをすることがあります。以下のアドレスからの受信を可に設定してください。
kyouinsaiyou@pref.saga.lg.jp

IV 提出書類 (提出・準備するもの)

☑	提出・準備書類	提出者	備 考	提出期限
☐	ア 受験票	全受験者	受験番号は、11月上旬に佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。到達番号を入力し、受験票をプリントアウトすること。	当日持参
☐	イ 写真票	全受験者	縦4.5cm×横3.5cm(パスポートサイズ)の写真を貼付する。台紙の厚さは問わない。写真については1か月以内に撮影したもの。	10/19 (月) 消印有効 ※簡易書留にて送付すること
☐	ウ 履歴書	全受験者	パソコン入力でも自筆でも可とする。氏名はプリントアウトした後、自署すること。 ※A4片面1ページに収めること。	
☐	エ エントリーシート	全受験者 チャレンジ受験者は不要	テーマに沿って、自己PRを記入する。記入については、パソコン入力でも自筆でも可とする。 ※A4片面2枚にして提出すること。	
☐	オ 教育職員免許状の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書	全受験者 チャレンジ受験者は不要	免除申請や加点申請の必要書類として提出する者は、重ねて提出しなくてよい。	
☐	カ 試験結果通知用封筒	全受験者	長形3号(縦23.5cm、横12cm)封筒を準備する。封筒への記入内容は、右下【記入例】を参照。 ・封筒に「郵便番号」「(通知等を受け取る)住所」「氏名(様)」を記入すること。 ・封筒の左に「簡易書留」と記入し、 <u>460円分の切手</u> を貼ること。	
☐	キ 講師登録申込書	該当者	講師登録を希望する者のみ提出する。	
☐	ク 一般・教職教養試験免除申請書	該当者	一般・教職教養試験を免除申請する者は提出する。必要に応じて、免除となることが証明できる書類を添付すること。 ※A4サイズに拡大・縮小すること。	
☐	ケ 加点項目を証明する書類	該当者	特定資格等を有する者の加点、スポーツ分野の実績加点の申請者は提出すること。 ※A4サイズに拡大・縮小すること。	

1 提出書類について

- ア～エ及びキ、クは、佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロード、必要事項を記入し、プリントアウトすること。
- オ及びケについては、令和8年6月実施の令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験において、すでに提出している場合は「**証明書類 提出済 申告書(※)**」の提出に代えることができる。
※ 「証明書類 提出済 申告書」については、佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロードして、必要事項を記入し、プリントアウトすること。
- アは、試験当日に持参すること。イ～ケの書類は、**10月19日(月)までに、簡易書留**による郵送にて提出すること(締切当日の消印有効)。

【郵送先】

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号
佐賀県教育委員会事務局 教職員課人事担当 宛

カ 試験結果通知用封筒(長形3号)

460円 分の 切手	■■■-△▲▲▲	
	佐賀	佐賀市
	花子	××××
	様	×

【記入例】

2 その他

- 改姓等により、提出する書類(免許状や証明書等)の氏名が現在と異なる場合は、戸籍抄本等、氏名の変更が確認できる書類を併せて提出すること。
- 書類を教職員課宛に郵送する際は、**封筒裏面に試験区分・教科(科目)**を記入すること。
- 記入例のとおり、**自分の名前+様**(※行、宛ではなく)と記入すること。
- 切手と**収入印紙**の違いが増えているので、購入時に十分注意すること。

V 選考結果の通知から採用まで

- 1 <発表予定日> **令和8年12月4日(金)** ※必ず通知文書又は県庁の掲示板で確認すること。
選考結果は、郵送により文書で通知するとともに、合格者の受験番号を佐賀県庁の掲示板に発表日の**午前9時**に掲示する。また、佐賀県ホームページ及び佐賀県教育委員会ホームページにおいても、合格者の受験番号を発表日の午前9時から1ヶ月間掲載する。
- 2 合格者は、採用候補者名簿に登載する。同時に合格者には採用内定を通知する。名簿登載の有効期間は、令和10年3月31日までとし、原則として令和9年4月1日から令和10年3月31日の間に採用する。
※ **B①・②さがUJ I ターン特別選考**、**B③社会人特別選考** による合格者は、**令和8年12月24日(木)**までに在職証明書を提出すること。在職の確認ができない場合は、採用候補者名簿から削除する。
※ **B④英語スペシャリスト特別選考** による合格者で、日本国籍を有しない者は、期限を付さない常勤講師とする。

VI 留意事項等

- 1 私立学校及び他県の公立学校に勤務している者で、本県の公立学校教員を希望する者は、この試験を受験すること。
- 2 受験の際の配慮希望等があれば、電子申請の「受験上の配慮」の欄に記入するとともに、佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当に連絡すること。
- 3 申込受付後は、いかなる理由があっても書類は返却しない。なお、申込時に申請・登録された情報は採用選考以外には利用しない。
- 4 スマートフォンやタブレット等、メールやインターネット機能のある機器を試験会場の敷地内で使用しないこと。
- 5 試験当日は、試験会場への自動車の乗り入れを禁止する。試験会場前や周辺での自動車の乗り降りは交通混雑の原因となり他に多大な迷惑をかけることとなるので、厳に慎むこと。また、近隣のスーパー等に駐車して迷惑をかけることがないようにすること。
- 6 試験当日は、各自**上履き及び靴袋**を持参すること。
- 7 試験会場となる学校の敷地内では喫煙しないこと。
- 8 試験会場近くには食堂等が少ないので、必要に応じて、各自昼食の準備をすること。
- 9 試験中のけが等について、会場では応急処置のみを行うので、各自万一の事態に備えるほか、必要に応じて、保険に加入するなどの準備を行うこと。

◎教員採用選考試験専用サイトにご登録をお願いします。
最新の情報を発信いたします。

WEBサイト



LINE



X (旧Twitter)



Instagram



【採用選考試験に関する問合せ・連絡先】

佐賀県教育委員会事務局 教職員課 人事担当

住所 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号

電話 0952-25-7212 メール kyouinsaiyou@pref.saga.lg.jp

☞受信可に設定を☞

※ 試験当日の急な連絡や問い合わせは、試験会場に行うこと。

〔試験会場〕 佐賀県立佐賀工業高等学校 佐賀市緑小路1番1号

電話 0952-24-4356